令和７年１０月１０日

畜産生産情報　第６号

青森県「農林水産力」強化本部

◎家畜伝染病の防疫対策にしっかりと取り組もう。
◎良質堆肥の生産と有効活用に努めよう。

＜要 約＞

◇　乳用牛　～分娩時の事故防止～

分娩予定牛は、清潔で寝起きがしやすい環境で飼育する。また、滑らないよう敷料を十分に敷き、尿溝を鉄板等で防ぐなど事故防止に努める。

分娩時は、経過を注意深く観察の上、けん引助成は慎重に行い、長時間経過しても分娩が進まない場合には、獣医師に診療を依頼する。

◇　肉用牛　～繁殖牛の退牧後の飼育管理～

舎飼い開始時は、飼料を急に変えないようにする。分娩２か月前から概ね離乳までの期間は、過肥にならないように調節しながら、配合飼料の給与量を増やす。

子牛の下痢、肺炎の発生が多い農場では、消毒や換気等対策を行うとともに、母牛へのワクチン投与を検討する。

◇　豚　～冬期間の飼育管理～

寒さによる発育の停滞や飼料効率の低下を防ぐため、すきま風の防止や適切な保温などの防寒対策を徹底する。

部外者の農場立入りを禁止し、豚舎の出入口で靴及び手指の消毒、靴の履き替え、作業服の着替えを徹底する。

◇　鶏　～衛生管理～

部外者の農場立入りを禁止し、消毒設備の設置や家きん舎ごとの専用の靴を使用するなど、ウイルス侵入防止対策を徹底する。

野生動物の侵入防止に努め、その排せつ物が飼料や飲水に混入しないようにする。

◇　草地・飼料作物及び環境保全　～越冬前の草地管理～

経年草地は、土壌診断をした上で石灰や苦土等の土壌改良資材を施用する。また、堆肥は、十分腐熟させ、土壌改良資材や肥料として活用する。

とうもろこしサイレージは、カビや二次発酵に十分注意し、適切に給与する。

◇　ツキノワグマの被害防止対策

１人での作業をできるだけ避け、ラジオやクマよけスプレーを携帯するなど、人身被害の防止に務める。

農地周辺の藪を刈払って見通しを良くすることで、クマの隠れ場所を無くし、クマが農地に近づきにくい環境を整える。

◇　秋の農作業安全運動展開中！

県では、毎年 10 件前後の農作業死亡事故が発生していることから、農作業事故を防止するため、「秋の農作業安全運動」を実施しています。

農作業安全のポイントを意識しながら、「みんなで声がけ！安全確認！」を心がけ、安全第一で農作業事故を防止しましょう。

◇　農業保険

家畜共済など、自分の経営に合った保険に加入してリスクに備える。

報道機関用提出資料	
担当課 担当者	農林水産部 畜産課 経営支援グループ グループマネージャー　三村 葉子
電話番号	直通 017-734-9496 内線 4814
報道監	農林水産部 次長　及川 正顕　内線 4966